

秋田県
よろず支援拠点
≡
有限会社
小倉温泉旅館

広報や集客力に課題。
売上向上に向けて相談し
新しい顧客獲得に成功



敷居が高いのではと
二の足を踏んでいたけれど、
思い切って相談してよかった！

勇気もらいWeb活用の一步を踏み出す

五城目町の国道285号線を北上すると、左手の高台にある小倉温泉旅館。創業は90年ほど前に遡り、旅館の奥に位置する小倉集落の湯治場を専務取締役・石井永郎さんの祖父が買い取ったことが始まりだという。昭和42年になると現在の場所まで温泉を引き、旅館として運営を開始。五城目町を中心に湖東地域、潟上市、秋田市北部の方が職場の忘年会などで宴会がてら宿泊するスタイルが長く続いていたが、コロナ禍を機に利用客が激減。

「県内の利用客が高齢化によって減っている中、地元の金融機関からよろず支援拠点を紹介していただき、相談することにしました。家族経営の小さな企業なので、遠慮もありましたが、担当のコーディネーターの方が本当に親身になって細やかな提案をしてくださいました。」と石井さん。Web予約の導入は、ダブルブッキングの不安があったが、「お試しとして一部屋だけWebで受け付けてみては」というアドバイスもあり、挑戦を決意した。

客層広がり意欲上昇！新プランも考案中

相談する以前はパソコンがなく、ネット環境も整備されていなかったが、令和7年7月から本格的にOTAサイト経由での予約受付をスタート。県外からの宿泊客などこれまでとは異なる客層の利用に繋がった。

Web予約は、その手軽さから顧客の好反応を得ただけでなく、石井さん自身も電話対応への時間短縮など、メリットを感じていると語る。観光分野を得意とするコーディネーターの知見から顧客のニーズに沿った宿泊プランの提案を受け、季節に合わせた料理や地酒とのセットプランなどを複数開発した。和食料理人の経験がある石井さんの料理も好評だ。

「コンテンツの成果以上に、自分でもできるかもしれない、がんばろうと思わせてくれたことにとても感謝しています。この度、普段お食事で提供している五城目町の郷土料理・だまこ鍋を、お持ち帰り商品として開発しました。これからも新たなことに挑戦していきたいです。」と意気込みを語ってくれた。



いいい ながお
専務取締役 石井 永郎

有限会社 小倉温泉旅館
〒018-1856
南秋田郡五城目町富津内下山内字猿田沢24
TEL:018-852-2440
<https://www.jalan.net/yad366413/>



H P

▶活用事例 秋田県よろず支援拠点

幅広い経営知識と高い専門性を有するコーディネーターが、相談者の課題を抽出把握して、課題解決を目指した提案に基づきチーム支援します。

【お問い合わせ】
秋田県よろず支援拠点
TEL. 018-860-5605



神経痛や皮膚疾患などにも効果があると地元の方に長く愛されている温泉。



石井さんの経験が光る料理。地元の食材をたっぷり使用。



天井が高く、開放的な宴会場。身内間での集まりや職場の忘年会など、宴会のみも対応可能だ。